綾町のまちづくり

～自然と共生するまち～

2025.02.18.

ユネスコエコパーク推進室長　倉前省吾

自然と共生する町・照葉樹林都市・綾町
Since 1 July 2012 Japan Aya Biosphere Reserve
綾ユネスコエコパーク
Aya Biosphere Reserve

綾町の概要

◆宮崎県の中央に位置
（宮崎市から約20㎞）

◆自然豊かな中山間地域

まちづくりの理念

基本理念

照葉樹林都市綾を基調とし、自然と調和した 豊かで活力に満ちた教育文化都市

①照葉樹林都市・綾　　**②自然生態系農業の町・綾**
③手づくり工芸の里・綾　　**④農村と都市との交流共生の町・綾**
⑤教育スポーツ合宿交流の町・綾　　**⑥産業観光の町・綾**

綾　町　憲　章

豊かな自然と伝統を生かし、みんなの英知と協力で未来にひらく町を目指すため、ここに綾町憲章を定めます。

1．自然生態系を生かし育てる町にしよう
1．健康で豊かな活力ある町にしよう
1．青少年に誇りと希望をいだかせる町にしよう
1．生活文化に創意と工夫をこらす町にしよう
1．思いやりとふれあいで明るい町にしよう

理念に基づく取り組み（初期）

照葉樹林文化をベースにしたまちづくりをしよう！

「ほんもの」を求める時代が来る。ほんもののまちづくりを目指そう！

郷田實 町長
1966年～1990年

- 照葉樹林の伐採を阻止
- 一坪菜園運動
- まちをあげて有機農業を推進
- 生ごみや畜産排泄物を循環利用
- 住民主体の地域づくり
  「自治公民館活動」推進
- 花いっぱい運動　　など

NO　~~大量生産・大量消費・大量廃棄~~

理念に基づく取り組み

- 有機農産物「綾ブランド」確立
- スポーツ合宿誘致
- 官民連携の環境保全活動推進
  「綾の照葉樹林プロジェクト」
  「イオンの森里山再生」
- 地産地消推進（学校給食など）
- ほんものを磨く産業振興の延長上にある「産業観光」の推進
- ふるさと教育の推進

「自然との共生」と
地域経済の活性化を
両立させて
取り組みを持続可能に

循環型で持続可能な
世界のモデル地域を
目指そう！

前田穣 町長
1990年～2019年

2012年 ユネスコエコパークに登録

有機農業の振興

―自然生態系農業の主なあゆみ―	
昭和63年	自然生態系農業の推進に関する条例　制定（全国初）
平成元年	農産物直売所「綾手づくりほんものセンター」　設置
	有機農業開発センター　設置
平成13年	有機JAS登録認定機関　として登録（市町村では初）

手づくりほんものセンター

有機農業開発センター

有機農産物は
このマークが目印！

教育文化の充実

* 幼児保育、幼児教育、
  学校教育、社会教育
  （生涯学習）の推進
* 出会い 触れ合い 分かち合い

木造校舎に生まれ変わった綾中学校

ほんものを目指して
～手づくり工芸の里～

＊綾町工芸コミュニティ協議会

- 染織、木工芸、陶芸、ガラス工芸など約40工房
- 毎年11月に綾工芸まつり開催

スポーツ施設、文化施設の整備

- サッカー場、野球場、大型体育館（ドーム）、陸上競技場などが整備され、多くのプロ・アマチームもキャンプに使用
- 歴史に基づいた施設の整備～約700年前の山城「綾城」の再現
- 馬事公苑の整備

歴史伝統文化に基づいたイベント

* 江戸時代からの風習
  「雛山まつり」
* 花火大会
* 照葉樹林マラソン
* 綾競馬
* 工芸まつり　など

綾町のブランド確立を目指す

オンリーワンと生物多様性

世界的に認められた森

照葉樹林　と　大吊橋

■日本最大級の照葉樹林は、
2012年7月ユネスコ エコパークに登録

■その森の中心にかかる照葉大吊橋は、
まるで空中を散歩しているかのようで、
その眺めは絶景！

イオン環境財団等との連携

イオンモール宮崎2階に設置されている「綾町イオンの森」大型パネル

左上）昆虫教室の採集・調査の様子　左下）令和2年から実施している綾中学校1年生の環境教育
中央上）イオン九州社員の皆さんの日向夏収穫体験　中央下）昨秋に新発売した綾・日向夏ケチャップ

包括連携協定

1. 生物多様性保全と持続可能な利活用のための里山づくりの推進
2. 地域の伝統文化継承と新たな文化創造を含めた環境教育の実施
3. 綾町イオンの森を中心とする自然共生サイトの拡大